



病理検査

病理検査は、一つ一つの細胞に注目する**細胞検査**と、組織として診ていく**組織検査**に分けることができます。

<<組織って?>>

身体はたくさんの細胞からできていますが、ほぼ同形・同大で、働きも似通った細胞の集団のことをいいます。例えば、上皮組織・結合組織・筋組織・神経組織などがあります。

組織検査

身体から採取されてきた様々な組織について、異常の有無や治療を行った効果などを病理医が診断する検査です。

例えば、、、

胃カメラの検査をして、正常とは異なる部分を見つけたとします。

そしてその部分を詳しく調べる必要があると判断したとき、

小さな小さなピンセットのようなものなどで調べたい部分を採取します。

そして組織検査を行うこととなります。

検査部に提出された様々な組織は、4 μm程度(透けて見えるほどすごく薄いです。)の薄さに切られた後、染色され、顕微鏡で診断されます。



胃カメラでみた
胃の中



採取された組織
胃の一部



組織を薄く切って
染色



顕微鏡で診断
胃粘膜